

群馬県上野村

【活動概要・効果】

☆地域自然を生かした地域活性化と過疎対策

○村民を海外に派遣する海外視察派遣事業、その経験を生かした村内全域花いっぱい運動、（株）上野振興公社による村営宿泊施設と観光施設の管理運営、過疎対策としてのUターン者の積極的な受け入れ、森林フォーラムという都市部の人への勉強会を行っている。

☆（株）上野振興公社は、村営国民宿舎や公園施設事業の運営を行い、各事業に対して自意識と機動性を導入。村の地場産業促進にも取り組み、就業の場として確立し、地域の活性化や地域のリーダー、人づくりに取り組んでいる。村営事業では成しえなかった企業のセンスを取り入れ、就業の場の確立とUターンの受け皿として黒字経営を続けている。

☆Uターン対策事業では、住宅整備、就業の場の確保、生活環境の整備など受け入れ体制を整えている。就業の場の確保のために実施している木工事業の振興、特産品の開発・製造販売事業の振興、観光事業の振興等は産業全体の活性化にもつながっている。年々Uターン者数は増加し、農林業・木工業、振興公社への就業者も増加し、新たな村の後継者が増加している。



Uターンフェアでの様子

《人員確保での工夫・苦労》

Uターンのみならず、上野村のような農山村にとって、地域を活性化させるために中核となる人材を確保することは重要である。村の豊かな自然、歴史や文化、産業、長所や短所など、現在の村の全体像を把握してもらった上で、「自分たちは何に取り組まねばならないのか」という共通目的意識を持つまでには、相当な時間と労力を要する。様々な人たちがふれあい、話し合う場を提供し、『同郷者』という意識を育てることが大切で、短期間で結果を得ようという考えでは、良い結果は得られない。

【現場の声】

各種事業とも現在まで充実させてくるには、相当な困難があった。中でも、過疎対策として力を注いできたUターン対策事業においては、定住者の確保に向けて居住環境の整備や就業の場の確保等が重要課題であった。居住環境については、村単独予算だけでなく、地域活性化事業債等で財源を確保し、効率的に住宅整備を行ってきた。また、地域活性化や人づくりを目的に、株式会社上野振興公社を一つの就業の場として、村内の各種団体の協力を得ながら、充実させてきた。

これらによって、子育て世代が徐々に増え始め、村内は活気付いてきているが、将来にわたっての人材確保や財政面を考慮すると、効率的な事業展開を行う必要がある。

～上野村事業部企画財政課

《活動資金確保での工夫・苦労》

豊かな森林資源を生かした木工業の振興を図るため、加工施設や展示販売施設を整備した。また、各種事業を展開する上で様々な補助金や助成金等を有効活用しており、それ以外は、限られた財源を効率よく生かしながら活動をしている。

全ての事業に共通して言えることではないが、資金確保が大変な事業ほど、携わる人々の危機感が増し、様々なアイデアが出てくることで、事業活動がしっかり根付く場合もある。